

大規模災害への備えについて



渋川芳三議員

◇審議会等の情報公開について

【質問】審議会等を開催した時は、配布資料と議事録を原則として公開してほしい。

【答弁】配布資料等を委員名簿とともにホームページ上に公開する。

【質問】(仮称)飯山ぶらざ建設に関して、パブリックコメントは行わないのか。

【答弁】市報やホームページを通じて、パブリックコメントを行う。

【質問】(仮称)飯山ぶらざは、飯山の街の中に建設することで了解が得られたのか。

【答弁】了解が得られている。

【質問】ホームページ中の「市長の部屋」の1か月ごとの更新と市長等の日々の日程をホームページで公開することを提案する。

【答弁】「市長の部屋」は1か月に1回は更新する。市長の日程も、原則公開したい。

◇大規模災害への備えについて

【質問】飯山地域防災計画を見直す考えはあるか。

【答弁】全体的に点検と検証を行い、必要な部分は見直す。原発は

広域災害。国・県が把握した情報を流すよう求めていく。

【質問】戸狩の民宿や斑尾には、国内外から多くのお客様が宿泊される。このようなお客様に対する対応をどのように講じていくのか。

【答弁】今後、関係団体と連絡を取り、対応を検討していく。

◇地域戦略会議への対応について

【質問】地域戦略会議への対応方針をどのように進めているのか。

【答弁】北陸新幹線開業に向けての広域観光の推進を進めたい。



飯山まちづくりデザイン会議

被災者支援システムの導入で災害時の業務円滑化を



小林初子議員

【質問】被災者支援システムは、災害発生時の住民基本台帳のデータをベースに被災者台帳を作り、被災状況を入力する事で罹災証明書発行から支援金・義援金の交付、救援物資の管理、仮設住宅の入退去など二元的な管理が可能。例えば被災者が義援金等を受け取るために必要な罹災証明書の発行は、今の仕組みでは手間がかかり被災者を長時間待たせる等負担が大きいが同システムでは確認、照合の手間が省け行政も住民も助かる。職員が担えばコストはゼロ。市として同システムの導入への考えは。

【答弁】勉強させていただき検討。◇自主防災教育と小中学校の防災教育の実践的訓練について

【質問】年に一回全村あげて一斉に避難訓練を実施している所があるが、重要な取り組みと考える。当市では未実施の地域も少なくないので、市内一斉にやってみようか。また自主防災訓練の様子を市報やインターネットで広報し啓発につなげてはどうか。東日本大震災において岩手県釜石市では実践的な防災教



飯山市総合防災訓練

育によって小中学生のほぼ全員が無事だった。子どもたちに教えてきたのは知識ではなく、自分で命を守る姿勢を与える教育だという。子どもを通して家庭の防災意識向上にもつながっている事例に学びたいと考えるが、見解をお聞きしたい。

【答弁】自主防災訓練の一斉実施は難しいが積極的に呼びかける。園長会、校長会で各園・学校の防災計画を見返す指示を出し、避難場所の点検や学校と保護者間の連絡方法等を確認。防災教育については、命や助け合い等の問題について発達段階にそって進める。

震災後の財政見直し、地域防災計画の見直しは



佐藤正夫議員

【質問】今回の大震災の復興には莫大な費用が掛かる。国からの交付金や助成金、過疎債等が減額されれば、市財政へ影響が出るが、その見直しは。

【答弁】国は社会資本交付金の5%の執行を留保、新幹線関係以外は要望と内示額に開きがあり、市財政に一定の影響があると想定される。現に相当額減額された事例もあり、国の動向を注視し、状況に応じた適切な財政運営をしていきたい。

【質問】現在、飯山市防災計画に、原発、放射能に関することは入っていない。柏崎から50km圏内に入る当市としては、防災計画に情報伝達や避難を盛り込む必要がある。

柏崎刈羽原発からの距離



【答弁】放射能対策は一自治体での対応は限られている。県で作成するのが一番だが、県でも初のことで計画に時間がかかる。震災は明日にも起こるかもしれないので、市としても早急にマニュアルを作成する必要はある。今回の原発事故を参考とし、また、原発立地市町村の計画を例にして、どう対処すれば良いか検討して行く。

【質問】防災無線は戸外では聞こえない。震災・洪水に備えて地区全体に聞こえる外部スピーカーの設置を。

【答弁】将来デジタル化に移行することが必要なのでその際検討する。なお、デジタル化は多額な費用が必要なので過疎債に盛り込めないか検討する。

【質問】七ヶ巻、朝土地籍国道沿いへの最終処分場建設は大規模かつ通年搬入なので、不衛生にならないか、当地方の観光に悪影響がないか心配している。

【答弁】岳北組合処分場の十倍の規模の大きさであり、市としても議員の指摘と同様に心配・注視している。

【質問】戦争の悲惨さと平和の大切さを戦争の知らない世代に学んでもらうことを目的にしたこの事業は、今回で4回目を迎える。今回の日程の中で、戦艦大和をメインにした「大和ミュージアム」と海上自衛隊潜水艦「てつこのくしら館」見学とある。どういうねらいで見学地を選定したのか。

【答弁】内容はこういうものか把握していないが「平和」を学ぶ視点で考えていく。

拡充された平和学習 派遣事業について



竹井政志議員

◇保健室へのエアコン設置について

【質問】昨年の夏は、長野県でも観測史上最高の記録を示し、熱中症による事故等の事例もあった。飯山市でも十数名いた。「体調の悪い子どもたちを休ませる環境として適当でない」という声もある。今後、未整備の小中学校への設置計画は。

【答弁】本年度は秋津小学校図書館に、24年度は戸狩小学校、25年度は飯山小学校に。できるだけ早く保健室のエアコン化をすすめていく。

◇新規事業住宅リフォーム支援事業について

【質問】今年度からスタートしたこの事業は、長引く不況で苦しむ中小零細業者の仕事を増やし、地域経済を活性化させるとともに居住環境の向上につながるとして、多くの市民から喜ばれている。この事業を単年度とせず長期的計画をもって実施していくのか。

【答弁】緊急対策事業なので、今後の経済状況を見て検討していく。



広島平和記念式典